



2019年 秋号

URL : <http://www.karashi.net/>

「ネット中毒」に要注意

最近スマホを手放せない人々が増えているようです。電車で座っている全員がゲームやSNSを楽しんでいるのか老いも若きも皆が真剣にスマホに見入っている姿は異様とも言えます。目を悪くするという問題だけで済ませることが出来ない危険があります。

これら便利なものを造り出した人々の証言、実際にどのように対処しているかを知ると、「ネット中毒」がいかに深刻なものであるかを憶測できます。

米国「Wired」誌・編集長のニコラス・トンプソン氏とインタビューの際、Facebook 初代CEOのショーン・パーカー氏は「自分を含むクリエイターたちはフェイスブックをデザインする際、使用する者たちに中毒性を持たせることを狙った。」と語り、グーグル・元「製品哲学担当者」のトリスタン・ハリス氏は2017年4月のTEDトークで、「(SNSは)我々の時間を意図的に“ハイジャック”し、依存するよう設計されている。我々自身をスマホによる「乗っ取り」から守り、有意義な時間を過ごそう。」と勧めました。

今、シリコンバレーでは「テックフリー教育」が主流になっています。世界で唯一の時価総額1兆ドル企業『Apple』の創業者スティーブ・ジョブ氏は「私は自分の子供にはiPadは、使わせない」、マイクロソフト共同創業者 兼元会長 兼顧問のビル・ゲイツ氏は「うちの子供は14歳まで携帯電話禁止」と語っています。「バーチャル体験」を続けることによって、現実と仮想現実との区別がつかなくなり、うつや不安神経症を発症している多くの症例が報告されているからです。

人間が「機械」のようになり、物事を深く考える人が減り、社会全体を危機に陥れることになる「ネット中毒」・・・私達も真剣に向き合わなければなりません。

「声なき者の友」の輪 神田英輔

*FVIの働きは皆様からのご支援に支えられているカタリストによって担われています。 献金で各カタリストをご支援くださる際には、振り込み用紙に「神田指定」などとカタリスト名をご明記ください。